

平井富司子 (Fujiko Hirai)

ソプラノ

武蔵野音楽大学声楽科卒業後、二期会オペラスタジオ37期にて学び、2000年渡伊し、ローマ サンタ チェチーリア音楽院大学大学院首席卒業。現在はローマと東京、関西を拠点としてヨーロッパ各地、日本で活動中。

Paride Venturi, Steven Roach, Nazzareno Antinori, Marco Boemi, 平野忠彦、菅野宏明の各氏に指事。

2001年「イギリス日本年」において東京室内歌劇場の「脳死をこえて」ロンドン公演に参加。

2002年オーストラリア メルボルンシティーオペラ、2007年ローマにて「トスカ」タイトルロールでオペラデビューする。

「トスカ」「蝶々夫人」「椿姫」「運命の力」「フィガロの結婚」などのオペラに出演。多くの指揮者、演出家より、ドラマティックな歌唱、表現力に高い評価を受けている。その他、「こうもり」「チャルダッシュの女王」などのオペレッタ、ベートーヴェンの第9、ヘンデルのメサイアのソロ、「サウンドオブミュージック」「マイフェアレディー」「オペラ座の怪人」のミュージカル、ディナーショー、そしてテレビドラマの「ふぞろいの林檎たち」「白い服の女」「翔ぶ男」(緒方拳、高橋克典出演)などのドラマ劇中シーンに出演など各方面で活躍。

2001年には鯖江市ふるさと大使として市民のためのオペラ塾を設立し、椿姫、蝶々夫人を公演する。

在イタリア日本大使館主催マルタ国、在トルコ日本大使館主催アンカラ、イスタンブールにてリサイタル。

2017年11月パレスチナでの平和の祈りを捧げるコンサートは大きな話題となった。在日イタリア大阪総領事館主催のイタリア建国記念日式典においてイタリア国歌斉唱。外国人では異例抜擢でイタリア海軍バンドオーケストラとローマ歌劇場、ヴェネチアのフェニーチャ歌劇場で共演。

2012年4月読売テレビ「グッと！地球便」、2014年3月BS日本テレビ「ケンドーコバヤシのイタリア人になりたい」(フィアット提供)でローマの案内人として出演。

2016年1月15日上野・東京文化会館小ホールにてリサイタルし、高い評価を受けた。